

1 楠学区連絡協議会（北区）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	楠学区連絡協議会
2 事業名	子供、女性の安全対策事業
3 事業実施 結果	<p>1. <u>防犯少年団を中心とした活動</u></p> <p>楠小学校では、令和4年度に防犯少年団（コノハキッズ）のモデル校に指定されたため、楠小学校ならびに愛知県警北警察署の協力のもと、防犯少年団10名、楠学区独自のKUSUNOKI防犯キッズ30名（3年生以上が対象）の計40名により以下の活動を行った。KUSUNOKI防犯キッズのユニホームについては、愛知県警提供のものとは別に、楠学区独自のものを作成した。</p> <p>（1）防犯少年団の発足と全校児童への防犯教室授業</p> <p>北警察署や関係公共機関、公職者や楠学区関係者の参加のもと、委嘱式を執り行い発足。委嘱式の後、県警本部の「のぞみ」による「つ・み・き・お・に」の寸劇により、防犯少年団に啓発活動を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>DVD撮影した委嘱式や寸劇を、全校児童を対象とした防犯教室授業の中で放映すると共に、楠学区が作成した「つ・み・き・お・に」の缶バッジを全校児童だけでなく、教職員やPTAにも配付し啓発活動を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

(2) 学区内のパトロールと「子ども 110 番の家」の確認

防犯少年団と防犯キッズを対象にした北警察署長の防犯講話の後、パトカーに乗車して学区内のパトロールを全員が実施。「子ども 110 番の家」が記載された住宅地図を手にし、コース毎に「子ども 110 番の家」の位置確認を行うと同時に、地図の最新化を図った。



(3) 楠コミセンまつりでの犯罪防止啓発活動

約 1,000 名近くが参加した「楠コミセンまつり」では、防犯少年団が専用のブースを受け持ち、防犯クイズや「つ・み・き・お・に」のパネルを使った犯罪防止啓発活動、チラシの配布等を行った。「楠コミセンまつり」は、子どもだけでなく親の参加者も多く、効果的な啓発活動を行うことができた。



(4) 防犯キャンペーン

防犯少年団と楠学区の役員が、学区内にある 3 か所のスーパーにて防犯用ノボリを立て、啓発用チラシの配布により年末に向けた防犯活動を行った。



(5) 愛知県警察本部の見学

防犯少年団の年内最後の活動として、愛知県警察本部の見学を行い、警察の仕事や仕組みを学ぶとともに、得た知識をもとに他の児童への展開を図った。



2. 女性・高齢者への対策

(1) 護身術講習と防犯セミナー

北警察署生活安全課の協力のもと、女性を対象とした護身術の講習を行った。また、主に高齢者が集まる歌声サロンにて特殊詐欺に関する寸劇と講話を行った。



(2) 女性会による活動

楠学区の女性会では、リボンストラップを手作りで作成し、2回実施したキャンペーンで啓発物品とともに配布した。「楠コミセンまつり」では、女性会専用のブースを構え、防犯啓発物品の配布と啓蒙活動を行った。



(3) 防犯キャンペーン

学区内にある3か所のスーパーにて、防犯用ノボリを立て、女性と高齢者を対象にした防犯キャンペーンを実施した。キャンペーン時には、上記のリボンストラップを合わせて配布するとともに、地域住民に呼びかけて防犯意識の向上に努めた。また、楠学区で行う行事において、防犯に関する啓発物品の配布や、地域住民への呼びかけにより防犯意識の向上に努めた。キャンペーンでは、チラシや啓発物品を2,000個用意し、スーパー以外には近隣の施設や郵便局・JAの窓口でも配布した。



3. 防犯パトロールと声かけ運動

(1) 防犯パトロール

楠学区の防犯委員会と各自治会の防犯委員等が行っている夜間パトロールや昼間パトロール時に、防犯に関する広報活動だけでなく、薄暗い場所など「子どもや女性」にとって危険性がある場所の確認作業を行った。

(2) 声かけ運動

毎月、学区内の幹線道路の交差点で行う「おはよう運動」で、登校する小学生・中学生・高校生を初め、一般の人を含め防犯に関する声かけを行った。

(3) 見守り活動

楠小学校の児童の下校時に行う見守り活動において、見守り隊員に地域自主防犯活動の内容を周知するとともに、楠学区で作成した「つ・み・き・お・に」の缶バッジを見守り隊員全員に配付した。



<p>4 成果と課題 及び今後の取 組み</p>	<p>(1) 成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 防犯少年団コノハキッズならびに KUSUNOKI キッズの活動により、団員はもとより団員以外の児童に防犯意識を持たせることができ、児童の自発的な行動が目につくようになった。 ② 楠学区で作成した「つ・み・き・お・に」の缶バッジを広く配付することにより、子どもから大人まで防犯に対する認識を共有することができた。 ③ 愛知県警北警察署の多大な協力もあり、通常ではなかなか入ることができない県警本部の見学ができたことは貴重な体験であった。 ④ 女性を対象にした護身術は、初めて実施したが非常に好評で、力がそれほどなくても、身を守ることができることを知ることができた。 ⑤ 楠学区においては、女性が被害を受けることもあるが、今回の事業では子どもの安全対策が主となってしまった。 ⑥ スーパーでのキャンペーンや、関連施設や金融機関の窓口でのチラシ等の配布により、地域住民に防犯意識を喚起することができた。 <p>(2) 今後の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 楠学区が独自に発足させた「KUSUNOKI キッズ」は、来年度以降も新たにメンバーを募集し活動を継続していく。 ② 学区内では、年に数回不審者情報が発生するため、護身術の講習を継続していく。 ③ 防犯委員会と楠小学校で協力し、「子ども 110 番の家」を増やしていく。 ④ 現在、パトロールは夜間が主となっているため、不審者対策やイタズラ対策として昼間（下校時以降）のパトロールを強化する。 ⑤ 各自治会と連携し、薄暗い場所での防犯灯や防犯カメラおよびセンサーライト等の設置を推進する。 ⑥ 子ども・女性・高齢者に対し、特殊詐欺や窃盗、「ひったくり」等の注意喚起や啓蒙活動を継続していく。 ⑦ 楠学区の標語である「子どもは町の宝です」を合言葉に、地域住民が一体となつてのパトロール強化、回覧板やホームページでの啓蒙活動を行う。
----------------------------------	--